



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月9日

上場会社名 武蔵精密工業株式会社 上場取引所 東 名  
コード番号 7220 URL https://www.musashi.co.jp  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大塚 浩史  
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 松田 宏樹 TEL 0532-25-8111  
四半期報告書提出予定日 2023年8月9日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年6月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	82,437	29.0	2,303	—	2,567	—	1,777	—
2023年3月期第1四半期	63,925	9.9	△1,186	—	△63	—	△200	—

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 13,174百万円 (66.2%) 2023年3月期第1四半期 7,927百万円 (135.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	27.21	—
2023年3月期第1四半期	△3.08	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	288,238	126,889	39.7	1,751.37
2023年3月期	269,278	114,432	38.2	1,573.23

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 114,368百万円 2023年3月期 102,735百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	20.00	—	10.00	30.00
2024年3月期 (予想)	—	15.00	—	20.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	310,000	2.8	11,000	43.3	10,000	42.2	7,000	187.3	107.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	65,333,301株	2023年3月期	65,333,301株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	30,955株	2023年3月期	30,955株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	65,302,346株	2023年3月期1Q	65,256,746株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(セグメント情報) .....	7
(企業結合等関係) .....	8
(収益認識関係) .....	9
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2023年4月1日～6月30日)の世界経済は、米国を中心に持ち直しの動きが進みました。一方、欧州では継続的な物価上昇が景気の下押し圧力となったほか、中国では製造業の景況感に弱さが見られるなど、強弱は地域ごとにまちまちとなりました。

こうした中、当社グループでは、自動車市場で加速するEV化をチャンスと捉え、さらなる事業成長に向けた施策を進めています。4輪車向けには研究開発を強化し、顧客への提案力やコスト競争力の向上に取り組んでいます。また、今後に大きな成長が期待できる2輪EV市場向けにはEV駆動ユニットの受注活動を積極的に行っており、インド、東南アジア、アフリカの各地域において、EVスタートアップ企業との協業が具体化しています。

また新規事業領域では、インダストリー、エネルギーソリューション、ウェルビーイングの各分野で事業を展開しています。このうちAI事業では、AIを活用した独自の外観検査装置の検査対象部品が広がるとともに、社外への販売も拡大しています。

当社グループでは、ムサシ100年ビジョン「Go Far Beyond! 枠を壊し冒険へ出かけよう!」の下、今後も環境変化を先取りした、人・しくみ・事業の変革とカーボンニュートラルの実現に向けた施策を加速してまいります。

このような状況において、当第1四半期連結累計期間における連結売上高は82,437百万円(前年同期比29.0%増)となりました。利益面では、連結営業利益は2,303百万円(前年同期は1,186百万円の営業損失)となりました。連結経常利益は2,567百万円(同63百万円の経常損失)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,777百万円(同200百万円の純損失)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

(日本)

半導体不足等による減産からの回復、材料費高騰分の売価反映などもあり、売上高は9,274百万円(前年同期比19.7%増)、セグメント利益は700百万円(前年同期は184百万円の損失)となりました。

(米州)

客先需要の拡大、材料費高騰分の売価反映や円安の影響などもあり、売上高は23,369百万円(同63.1%増)、セグメント利益は1,039百万円(同345百万円の損失)となりました。

(アジア)

材料費高騰分の売価反映や円安の影響などもあり、売上高は17,218百万円(同18.1%増)、セグメント利益は1,040百万円(前年同期比102.0%増)となりました。

(中国)

上海ロックダウンおよびゼロコロナ政策廃止後の急速な感染拡大による減産からの回復により、売上高は7,953百万円(同23.3%増)、セグメント利益は85百万円(前年同期は87百万円の損失)となりました。

(欧州)

物価上昇は継続しているものの、材料費高騰分の売価反映や円安の影響もあり、売上高は24,620百万円(同18.3%増)、セグメント損失は344百万円(同1,001百万円の損失)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

総資産は、前期末に比べて18,959百万円増加し、288,238百万円となりました。

流動資産は、前期末に比べて9,428百万円増加し、141,587百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金、原材料及び貯蔵品等の増加によるものです。

固定資産は、前期末に比べて9,530百万円増加し、146,650百万円となりました。主な要因は、機械装置及び運搬具の増加によるものです。

負債は、前期末に比べて6,503百万円増加し、161,349百万円となりました。主な要因は、短期借入金の増加によるものです。

非支配株主持分を含めた純資産は、前期末に比べて12,456百万円増加し、126,889百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年5月12日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	26,109	26,506
受取手形及び売掛金	46,382	49,002
商品及び製品	11,622	12,736
仕掛品	10,592	11,394
原材料及び貯蔵品	28,045	30,070
その他	9,610	12,082
貸倒引当金	△204	△204
流動資産合計	132,158	141,587
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	56,586	59,161
減価償却累計額	△29,884	△31,328
減損損失累計額	△392	△448
建物及び構築物(純額)	26,309	27,384
機械装置及び運搬具	272,843	293,543
減価償却累計額	△209,769	△225,920
減損損失累計額	△788	△863
機械装置及び運搬具(純額)	62,285	66,759
工具、器具及び備品	15,838	17,082
減価償却累計額	△11,952	△12,970
減損損失累計額	△20	△23
工具、器具及び備品(純額)	3,864	4,088
土地	7,928	8,249
建設仮勘定	10,488	9,438
有形固定資産合計	110,875	115,919
無形固定資産		
のれん	138	997
顧客関連資産	2,269	2,335
ソフトウェア	1,168	1,111
ソフトウェア仮勘定	7	7
その他	708	669
無形固定資産合計	4,292	5,121
投資その他の資産		
投資有価証券	12,909	15,457
出資金	1,515	1,648
長期貸付金	147	161
繰延税金資産	3,100	3,598
その他	4,315	4,779
貸倒引当金	△36	△36
投資その他の資産合計	21,952	25,610
固定資産合計	137,120	146,650
資産合計	269,278	288,238

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,528	23,723
短期借入金	57,306	63,539
1年内返済予定の長期借入金	12,073	9,073
未払金	3,507	5,225
未払費用	7,950	8,336
未払法人税等	1,350	1,897
賞与引当金	2,565	2,108
役員賞与引当金	26	27
製品保証引当金	152	135
債務保証損失引当金	200	200
その他	4,102	4,962
流動負債合計	111,764	119,229
固定負債		
長期借入金	29,782	28,469
繰延税金負債	4,143	4,547
退職給付に係る負債	6,232	6,836
その他	2,923	2,265
固定負債合計	43,081	42,120
負債合計	154,846	161,349
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,458	5,458
資本剰余金	3,158	3,158
利益剰余金	86,897	88,021
自己株式	△8	△8
株主資本合計	95,505	96,629
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,945	4,883
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	3,979	12,616
退職給付に係る調整累計額	304	238
その他の包括利益累計額合計	7,230	17,738
非支配株主持分	11,697	12,520
純資産合計	114,432	126,889
負債純資産合計	269,278	288,238

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	63,925	82,437
売上原価	57,891	72,573
売上総利益	6,033	9,863
販売費及び一般管理費	7,219	7,560
営業利益又は営業損失(△)	△1,186	2,303
営業外収益		
受取利息	113	117
受取配当金	78	114
投資有価証券評価益	—	19
為替差益	950	789
受取補償金	266	—
その他	113	131
営業外収益合計	1,522	1,172
営業外費用		
支払利息	210	680
投資有価証券評価損	112	2
持分法による投資損失	39	135
その他	36	89
営業外費用合計	399	908
経常利益又は経常損失(△)	△63	2,567
特別利益		
退職給付制度終了益	405	—
固定資産売却益	13	34
特別利益合計	419	34
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	5	21
投資有価証券評価損	—	64
特別損失合計	5	85
税金等調整前四半期純利益	350	2,515
法人税等	609	698
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△258	1,817
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△57	40
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△200	1,777

## (四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△258	1,817
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△319	1,938
繰延ヘッジ損益	—	0
為替換算調整勘定	8,090	9,572
退職給付に係る調整額	414	△83
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△69
その他の包括利益合計	8,185	11,357
四半期包括利益	7,927	13,174
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,222	12,285
非支配株主に係る四半期包括利益	704	888



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用について、当社及び国内連結子会社は、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報)

## I 前第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	米州	アジア	中国	欧州	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
売上高								
外部顧客への売上高	7,746	14,332	14,584	6,449	20,811	63,925	—	63,925
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,870	378	536	986	339	8,110	△8,110	—
計	13,616	14,710	15,121	7,436	21,151	72,035	△8,110	63,925
セグメント利益又は損失(△)	△184	△345	515	△87	△1,001	△1,104	△82	△1,186

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△82百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	米州	アジア	中国	欧州	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
売上高								
外部顧客への売上高	9,274	23,369	17,218	7,953	24,620	82,437	—	82,437
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,456	90	974	541	509	8,573	△8,573	—
計	15,731	23,460	18,193	8,494	25,130	91,010	△8,573	82,437
セグメント利益又は損失(△)	700	1,039	1,040	85	△344	2,521	△218	2,303

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△218百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「日本」セグメントにおいて、2023年6月30日を効力として、ニデックドライブテクノロジー(株)から無人搬送台車事業を信託受益権売買により譲受けいたしました。

当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては、928百万円であります。

なお、のれんの金額は当第1四半期連結会計期間末において識別可能な資産及び負債の特定並びに時価の算定が未了であり、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額です。

(企業結合等関係)

(1) 企業結合の概要

当社は、2023年6月30日を効力発生日として、当社グループの自動搬送機関連事業の拡大と充実化を図ることを目的に、ニデックドライブテクノロジー(株)から無人搬送台車事業を信託受益権売買により譲受けいたしました。

(2) 連結財務諸表に含まれている取得した事業の業績の期間

企業結合日が2023年6月30日であり、取得した事業に係る業績は連結財務諸表に含まれておりません。

(3) 取得原価の算定等に関する事項

取得した事業の取得原価は1,148百万円であり、対価は全て現金であります。

(4) 取得原価の配分に関する事項

①発生したのれんの金額 928百万円

当第1四半期連結会計期間末において、企業結合日における識別可能な資産及び負債の特定並びに時価の算定が未了であり、取得原価の配分が完了していないため、その時点で入手可能な合理的情報に基づき暫定的な会計処理を行っております。

②発生原因

今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力であります。

③償却方法及び償却期間

超過収益力の効果が発現する期間にわたって均等償却いたします。なお、償却期間については算定中であります。

## (収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

(単位:百万円)

	日本	米州	アジア	中国	欧州	合計
本田技研工業株式会社 及びその関係会社	4,171	9,268	10,335	2,779	—	26,554
その他グローバルカスタマー	3,575	5,063	4,249	3,670	20,811	37,370
顧客との契約から生じる収益	7,746	14,332	14,584	6,449	20,811	63,925
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	7,746	14,332	14,584	6,449	20,811	63,925

当第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

(単位:百万円)

	日本	米州	アジア	中国	欧州	合計
本田技研工業株式会社 及びその関係会社	5,172	17,633	12,317	3,698	—	38,821
その他グローバルカスタマー	4,102	5,736	4,901	4,255	24,620	43,615
顧客との契約から生じる収益	9,274	23,369	17,218	7,953	24,620	82,437
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	9,274	23,369	17,218	7,953	24,620	82,437

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。